

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2850号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

6/23

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

中国に新センター開設

センコー 海外チェーン店向け初

センコー(本社・大阪)としては同社初。店舗へ市、福田泰久社長)はこの配送業務、保管・仕分のほど、中国・深圳で「深圳物流センター」を開設した。チェーンストア向け作業などを行う。写真。



所在地は深圳市宝安区。施設は賃貸で、延べ床面積約五千七百平方メ

ートル。

一日から稼働し、インスタントラーメンや飲料品などを主に手掛けている。配送地域は深圳市のほか隣接する惠州市で、荷主の要望があればエリア拡大も視野に入れる。センターでは中国語に対応した作業管理システムを導入し、生産性の把握・向上に取り組む。店舗配送の配車については日本で使用している配車支援システムを採用し、効率的な運用を図る。

四人の同社社員と現地スタッフ十七人で運営。五月中旬から現地スタッフの事前教育を開始し、教育DVDの活用により、ドライバーや作業員らに基礎教育を施した。同社は「今回の中国でのチェーン店向け物流センター業務を契機に、日本の運営方法と情報システムを導入していく。中国国内での物流の高度化・差別化を図り、大規模物流センターの受注につなげたい」としている。